

衆議院予算委員会公聴会ニュース

【第213回国会】令和6年2月29日（木）、第1回の公聴会が開かれました。

1 令和6年度一般会計予算

令和6年度特別会計予算

令和6年度政府関係機関予算

- ・公述人から意見を聴取し、質疑を行いました。

（公述人）

（午前）株式会社大和総研副理事長

熊谷亮丸君

日本労働組合総連合会事務局長

清水秀行君

日本大学文理学部教授

末富芳君

全国労働組合総連合議長

小畑雅子君

（午後）一橋大学経済学研究科准教授

高久玲音君

学習院大学経済学部教授

鈴木亘君

一橋大学経済学研究科教授・研究科長

佐藤主光君

株式会社日本総合研究所理事

西沢和彦君

（質疑者）（午前）越智隆雄君（自民）、佐藤英道君（公明）、早稲田ゆき君（立憲）、守島正君（維教）、
本村伸子君（共産）、鈴木義弘君（国民）、緒方林太郎君（有志）

（午後）牧原秀樹君（自民）、角田秀穂君（公明）、石川香織君（立憲）、奥下剛光君（維教）、
高橋千鶴子君（共産）、田中健君（国民）、福島伸享君（有志）

（質疑者及び主な質疑内容）

（午前）

越智隆雄君（自民）

- （1） 令和6年度予算の評価及び課題についての熊谷公述人、清水公述人、末富公述人及び小畑公述人の見解
- （2） 株高の要因並びに新しい資本主義に対する意見、評価及び課題についての熊谷公述人の見解

佐藤英道君（公明）

- （1） 少子化対策として政府が決定したこども・子育て支援加速化プランに対する末富公述人の見解
- （2） 子ども・子育て支援金を含む少子化対策における財源確保の在り方に対する熊谷公述人及び末富公述人の見解
- （3） 共働き、共育での推進における政府の取組に対する清水公述人及び末富公述人の評価
- （4） 更なる少子化対策の充実に向けた末富公述人の見解

早稲田ゆき君（立憲）

- （1） 中小企業の賃上げに緊急かつ不可欠な政府の取組についての清水公述人の見解
- （2） 子ども・子育て支援金
 - ア 懸念点についての清水公述人及び末富公述人の所見
 - イ 社会保険料負担の増加やそれを避けるための非正規雇用へのシフトが生じ、結果的に少子化対策のブレーキとなる可能性に対する清水公述人の見解
 - ウ 事実上現役世代の負担増になることについての清水公述人の見解
- （3） 上場企業の女性役員比率を2030年までに3割以上とする政府目標の達成に向けて必要な取組に対す

る清水公述人の見解

守島正君（維教）

- (1) 現下のインフレ下における実質賃金上昇の可能性及び加えるべき政策についての熊谷公述人の見解
- (2) 我が国の財政状況及び財政健全化に必要な施策に対する熊谷公述人の見解
- (3) 最低賃金に柔軟性を持たせることに対する清水公述人の見解

本村伸子君（共産）

- (1) 自民党所属議員によるパーティー券収入裏金問題及び企業・団体献金の禁止が必要との意見に対する熊谷公述人、清水公述人、末富公述人及び小畑公述人の見解
- (2) 令和6年度予算は軍拡最優先の予算であり、医療・年金資金や雇用保険資金が軍拡財源にされるとともに、教育予算も抑制され、暮らしが脅かされるとの意見に対する小畑公述人の見解
- (3) 最低賃金制度を直ちに全国一律1,500円に引き上げるべきとの意見に対する小畑公述人、末富公述人及び清水公述人の見解
- (4) 医療、介護、保育、障害福祉、学童保育などのケア労働者の人手不足が顕著であるものの、政府のケア労働者の賃上げは物価高騰に追いついていないことに対する小畑公述人、末富公述人及び清水公述人の見解

鈴木義弘君（国民）

- (1) 国民の将来不安を払拭するためにすべき事及び令和6年度予算にそれが組み込まれているかについての熊谷公述人、清水公述人、末富公述人及び小畑公述人の見解
- (2) 今までの子育て支援や子供支援は、本当に子供のためになったかについての熊谷公述人及び末富公述人の見解
- (3) 日本国憲法で保障されている最低限度の生活を送るために必要な水準についての熊谷公述人及び末富公述人の見解

緒方林太郎君（有志）

金融政策

ア 熊谷公述人が考えるアベノミクスで良かった点

イ デフレは問題だという診断は正しいが、金融政策で期待インフレに働きかけるという方法は間違っているとの意見に対する熊谷公述人の見解

ウ 一つのインフレを成分分解し、一方にはデフレ対策、もう一方にはインフレ対策と政策を打っているように見えるとの意見に対する熊谷公述人の見解

エ アベノミクスは日本国内での円で換算した成長率が限定的に成長することを維持するために、国際的な日本の立ち位置を下げる効果を持ったとの指摘に対する熊谷公述人の見解

オ 熊谷公述人が言及した「日本の課題は低生産性分野に投資が偏在していること」は、低金利政策の結果との指摘に対する見解

カ 最近の企業収益の増加は、国民生活を犠牲にしながら企業収益が上がるというトレードオフの関係にあるとの意見に対する熊谷公述人の見解

キ 円安により海外投資家が入ってきたため株価が上昇しているとの分析及び現下の株価の上昇が国民生活に恩恵として行き渡っていないとの意見に対する熊谷公述人の見解

ク 累積債務により金利が上げられず、諸外国の動向とシンクロすることができないことが現在の日

本の課題との意見に対する熊谷公述人の見解

(午後)

牧原秀樹君（自民）

- (1) 我が国の医療保険制度の一本化などを含めた見直しの必要性についての高久公述人及び西沢公述人の見解
- (2) 人口減少や少子高齢化を見据えた社会保障制度改革についての佐藤公述人の見解
- (3) 出生率の低下に対する分析及び必要な対策についての鈴木公述人の見解

角田秀穂君（公明）

- (1) こども・子育て支援加速化プランに係る財源の在り方についての高久公述人、鈴木公述人、佐藤公述人及び西沢公述人の見解
- (2) 単身世帯が増加する中での社会保障制度の在り方及び労働者の単身割合が非正規雇用で著しく高い点を踏まえた単身者への支援策についての鈴木公述人及び佐藤公述人の見解
- (3) 公平・迅速な支援のためのマイナンバーカードの活用の在り方についての佐藤公述人の見解

石川香織君（立憲）

- (1) 子ども・子育て支援金制度
 - ア 実質的な国民負担増なしでの同制度の導入可能性についての西沢公述人の見解
 - イ 医療保険ごとの支援金の負担額に関する西沢公述人の試算を受けての予算委員会での議論や世論についての西沢公述人の見解
 - ウ 同制度の導入による社会保険料の負担増が与える雇用への影響についての鈴木公述人及び西沢公述人の見解
- (2) 若い世代を支援する枠組みに必要な工夫や注力すべき点についての高久公述人、鈴木公述人、佐藤公述人及び西沢公述人の見解

奥下剛光君（維教）

- (1) 我が国の社会保障制度を維持する上で欠けている点についての高久公述人、鈴木公述人、佐藤公述人及び西沢公述人の見解
- (2) 生活保護受給者の医療費負担の在り方についての鈴木公述人及び高久公述人の見解
- (3) 復興特別税を東日本大震災以外の災害からの復旧・復興にも活用できるよう見直す必要性についての佐藤公述人の見解
- (4) 子ども・子育て支援金制度の改善策についての高久公述人、鈴木公述人、佐藤公述人及び西沢公述人の見解

高橋千鶴子君（共産）

- (1) 子ども・子育て支援金の財源としての消費税の増税を忌避したことにより混乱が生じたとの指摘に対する西沢公述人の見解
- (2) 我が国経済がインフレに向かう中での年金制度の持続可能性に対する鈴木公述人の見解
- (3) 国民健康保険の制度的限界に関する西沢公述人の見解

- (4) 予備費の在り方及び令和6年能登半島地震における被災者生活再建のための交付金制度の決定方法に対する佐藤公述人の見解

田中健君（国民）

- (1) 子ども・子育て支援金
- ア 高齢者医療における自己負担増と歳出抑制により捻出される金額についての高久公述人の見解
 - イ 医療保険に上乗せする医療経済学上の根拠についての高久公述人の見解
 - ウ 各地域における国民健康保険の保険料率の差異による負担額の変動
 - a 負担額の均一化の必要性についての西沢公述人の見解
 - b 政府による負担額の均一化の可否及び必要性についての西沢公述人の見解
- (2) 国民年金における第3号被保険者制度
- ア 廃止による影響についての鈴木公述人の見解
 - イ 税制上の問題についての佐藤公述人の見解
- (3) 社会政策や税制における世帯単位の見直し及び少子化対策と子育て政策を個別に考える必要性
- ア 同意見についての鈴木公述人の見解
 - イ 同意見についての佐藤公述人の見解

福島伸享君（有志）

- (1) 医療従事者の働き方
- ア 診療所や開業医の診療報酬が厚遇されている原因が政治力の問題であるとの意見についての高久公述人及び佐藤公述人の見解
 - イ 医療現場においてタスクシェアが進まない原因についての佐藤公述人の見解
- (2) 子ども・子育て支援
- ア 子育て支援が少子化対策として重要という考え方についての鈴木公述人及び西沢公述人の見解
 - イ 目的が明確な国債による財源の確保についての鈴木公述人及び西沢公述人の見解
- (3) 政府の成長戦略に対する佐藤公述人の評価